

J R 総連通信

2022年2月15日 No.1505

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

JR総連推薦議員懇談会所属

衆議院議員 道下大樹氏

衆議院・予算委員会で質疑をおこなう！

「今回の雪害は災害！

JR北海道への支援措置が必要ではないか」

2月14日(月)、衆議院予算委員会がおこなわれ、JR総連推薦議員懇談会所属の衆議院議員・道下大樹氏(北海道1区・立憲民主党)が質疑に立ちました。

道下氏は、2月6日に札幌圏を中心に大雪に見舞われたJR北海道の雪害状況について、「今回の雪害による大規模運休はまさに災害であり、JR北海道の課題について意見を聞き、JR北海道に対する支援措置が必要ではないか」と、齊藤鉄夫国土交通大臣に対して質疑をおこないました。

齊藤国土交通大臣からは、「今回の雪害により、各駅に電車が滞留したことで除雪車が走行できなかった。これらを含めてJR北海道には検証をお願いし、報告してもらおう。また1302億円の支援には除雪車の更新なども含んでいる。今後はJR北海道の検証結果を踏まえ、国としても必要な対策を促進していく」などの答弁がされました。

JR北海道は2月14日(月)より、8日ぶりに通常ダイヤに戻り、全ての列車で運転を再開しました。記録的な大雪によりJR北海道グループに働くすべての組合員は、昼夜を問わず運行再開にむけて努力してきました。組合員の奮闘に敬意と感謝を申し上げるとともに、JR総連はこれからも、JR北海道労組と連携をはかり、JR総連推薦議員懇談会の国会議員と情報共有に努めて課題解決にむけて取り組んでいきます。



質問に立つ衆議院議員 道下大樹氏